## 2026年度日系社会研修 コース概要

No	44
所管センター	北陸
分野	医療・介護・高齢化対策
研修コース名	医療 (耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
受入人数	1
受入時期	下半期
来日日	2026年11月11日(水)
帰国日	2026年12月12日(土)
提案団体	金沢大学
提案団体ウェブサイトアドレス	https://www.kanazawa-u.ac.jp/
研修員必要資格	必要資格:耳鼻咽喉科専門医師であること (医師免許CRM取得済みであること) 経験年数:3年以上 日本語能力:日常会話レベル(絶対要件ではない) 英語能力:研修に耐えうる英語力
研修員に必要な実務経験年数	最終学歴修了後3年以上の実務経験
研修使用言語	英語 可能なら日本語
日本語能力 (JLPT目安)	N3
英語能力	英語でのコミュニケーション可
研修目標	金沢大学附属病院耳鼻咽喉科で得た技術及び知識を踏まえ、所属する日系社会における耳鼻咽喉科疾患に対する診療の問題点を抽出し、解決のための具体的な方策を立案、計画し、実行することができる能力の修得。
期待される成果 (習得する技術)	①研修員に、日本における耳鼻咽喉科診療の概要が理解される。 ②研修員に、日本の耳鼻咽喉科診療の技術・知見が習得される。 ③研修員により、自国で応用可能な技術・手法等が整理される。 ④研修員が帰国後の具体的な活動計画を作成する。
研修計画(内容)	1. 講義:①耳科疾患に対する手術療法 ②鼻科疾患に対する手術療法 ③頭頸部腫瘍に対する 治療法 ④頭頸部腫瘍術後の周術期管理の実際 2. 実習:耳科手術、鼻科手術、咽喉頭手術、頭頸部手術 3. 演習:直面している問題を分析し日本の手法の適応を検討し、アクションプランに反映する 4. 学会・セミナー;計画中 5. 発表:内部
本研修実施の意義現地日系社会への裨益効果	金沢大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科は、多くの症例を有しており、知識、手技の指導体制が確立されている。また、エビデンスに基づいた診療を実践している。耳科手術指導医、鼻科手術指導医、頭頸部がん専門医をはじめ、多数の耳鼻咽喉科・頭頸部外科指導医が勤務している。 研修については、研修用プログラム、カリキュラムが確立しており、耳鼻咽喉科専門研修指導医が専攻医の個別指導を行っている。これまでに数多くの耳鼻咽喉科専攻医を指導した経験から研修内容・指導方法を再検討し、より多くの研修成果を得られるような改善をしている。 当科で研修を実施することにより耳科、鼻科および頭頸部外科手術を習得した人材を育成することが可能であり、研修員帰国後は所属している日系社会の耳鼻咽喉科・頭頸部外科診療に即戦力として貢献できるようになる。
応募希望者への特記事項	・研修において臨床実習は行わないものとする。 ・研修に際し、事前に抗体値がわかる書類の提出を必要とし、本院が定める基準に満たない場合、ワクチン接種の上、接種証明書の提出を必要とする。(麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、B型肝炎) https://web.hosp.kanazawa-u.ac.jp/research/training/